



今月の題字
ふくし みづきちゃん
(大沢小2年)

町のわだい

大沢川でサケ稚魚放流会 元気にこの川へ帰ってきてね

5月2日、大沢川で「サケ稚魚放流会」が行われ、大沢小学校(小野寺京子校長・児童165人)の2年生と6年生の児童53人が参加しました。同放流会は、子供たちにサケ資源の大切さや川をきれいにする心を養ってもらおうと行っているもので、この日放流したのは大沢漁協が提供した体長約6㍍の稚魚2万匹。子供たちは「大きくなって戻ってきてね」と声を掛けながら川べりから次々に放流し、元気に海へと泳ぎだす稚魚の姿を優しく見守っていました。



道の駅で街頭啓発活動 事故のない明るい町を願い

5月13日、町交通安全対策運動協議会と県交通安全協会山田支部では、「道の駅やまだ」で交通安全街頭啓発活動を展開。チラシとティッシュペーパーなどをドライバーに手渡し、安全運転や交通マナーを呼び掛けました。春の全国交通安全運動の一環として行われたもので、町交通指導隊や町交通安全母の会の会員など74人が参加。「シートベルトをしっかりと締めよう」「気を引き締めて運転しよう」などと一声掛けながら交通事故撲滅を訴えていました。



町内の小学校で運動会 声援受け競技に大張り切り

5月18日と25日、町内九つの小学校では春の運動会が開かれました。各校で熱戦と応援合戦が繰り広げられる中、18日の織笠小学校(相模貞一校長・児童127人)の運動会では、徒競走や騎馬戦などの各競技のほか、遊戯「ひょっこりひょうたん島」などが次々に登場。趣向を凝らした種目に子供たちは張り切って臨んでいました。紅白対抗の綱引きでは、顔をしかめながら力いっぱい綱を引く子供たち。会場に詰め掛けた父母らから大きな声援が送られていました。



行政区長会議に142人 身近な要望など質疑活発に

行政区長会議が5月16日、町中央公民館小ホールで開かれ、各地区の区長142人が出席しました。会議に先立ち沼崎喜一町長は「厳しい予算の中で町民福祉向上のため努力していく決意です。区長の皆さん方には今後も地域のリーダーとして、町政のさらなる発展のためにご協力をお願いします」とあいさつ。その後行われた懇談では「通学路の安全の確保をお願いしたい」「街灯の修理をしてほしい」「野犬を捕獲してほしい」など、身近な要望が相次ぎました。

町老人大会に280人 芸自慢の歌や踊り大いに満喫

5月23日、町老人大会が町中央公民館大ホールで開かれました。大会には、町内15の老人クラブから会員など280人が参加。第1部の町老人クラブ連合会総会では、本年度の事業計画や予算などを審議。世代間交流や社会奉仕活動、各スポーツレクリエーション大会の開催などを決定しました。第2部の講演会では、佐藤力三さん(宮古公証役場公証人)を講師に相続と遺言の仕組みについて理解を深めました。第3部では参加者お待ちかねの演芸大会が行われ、各老人クラブの芸自慢の皆さんが歌や踊りを披露。会場からは、芸達者ぶりに盛んな拍手が送られていました。



町スポ少ミニバス大会 大沢スポ少が栄冠に輝く

5月11日、第15回町スポーツ少年団ミニバスケットボール大会が山田南、北の両小学校体育館で行われました。試合には町内のミニバススポ少8チーム91人が参加。選手たちは、素早いパス回しやドリブル、ディフェンスをいかくぐってのシュートなど、スピード感あふれる好ゲームを展開しました。熱戦の結果、大沢ミニバススポ少が見事優勝を果たし、山田北ミニバススポ少が準優勝。最優秀選手には箱石光映さん(大沢ミニバススポ少)が選ばれました。

